

# ある夜のこと、放火事件が起きた。



深夜、建築会社の従業員宿舎から、突然、炎と黒煙が噴き出した。放火したのは、この会社に雇われていた出稼ぎ労働者・矢部次郎。ライターで火をつけ、宿舎の部屋に放火し、そのまま逃走。後で思い直して自首。現住建造物等放火事件の被告人となった。

# 裁判員の選任手続が始まった。

平成21年初冬、東日本空調システム株式会社の営業マン村瀬智昭のもとに1通の手紙が届く。それは、裁判員候補者名簿に自分の名前が載ったとのお知らせだった。裁判員候補者になる可能性は低いと思っていた村瀬だが、平成22年3月、村瀬のもとに裁判員選任手続期日の「お知らせ」が送られてくる。村瀬は、仕事の都合もあり、当初は参加に消極的であったが、徐々に参加してもよいと思うようになっていく。そして、選任手続当日。選ばれたのは、美容師・大沼恵美、主婦・佐々木郁恵、個人タクシー運転手・山下修、NPO団体職員・青井拓也、元会社役員・小林勇作と村瀬であった…



## 登場人物



小嶋正夫 (29) | 北山雅康  
村瀬智昭の部下 / 販売促進部課員



中村直人 (28) | 佐々木征史  
村瀬智昭の部下 / 販売促進部課員

### 東日本空調システム (株)



村瀬智昭 (45) | 村上弘明  
会社員 / 販売促進部課長。会社の中堅的存在。営業の責任者で仕事に厳しく、部下に対しても容赦ない。大きな取組が現場にさしかかったとき、裁判所から「お知らせ」が届く。

### 村瀬家



村瀬幸子 (40) | 床嶋佳子  
村瀬の妻



村瀬美樹 (18) | 黒川芽衣  
村瀬の長女 / 高校3年生



村瀬雅昭 (14) | 塩 顕治  
村瀬の長男 / 中学2年生

北川 廉 (32) | 草野康太  
俳優 / 俳優としての仕事は生まれ、アルバイト店員として生活。たまたま裁判員候補者になったとき、大きな役が見つく。



### 辞退

### 裁判員



佐々木郁恵 (33) | 小林綾子  
主婦 / 2歳の幼児を持つ母。子供を初めて保育所に預けて、あたふたと裁判所に駆けつける。裁判員裁判への参加に積極的。



青井拓也 (26) | 泉 政行  
NPO団体職員 / 交通事故に合い車椅子生活を送っている。評議では、その過去の体験をもとに意見を述べる。



山下 修 (54) | 河原崎建三  
個人タクシー運転手 / 職業上、多くの乗客と接し、人生経験は豊富。被告人と同じように、若い頃、職場をクビになった経験を持つ。



小林勇作 (75) | 長門裕之  
元会社役員 / 神経痛の持病を持つものの、裁判員裁判への参加意欲が旺盛。70歳以上で裁判員を辞退できるが積極的に参加したいと主張する。



柳本忠雄 (62) | 児玉頼信  
建築会社社長 / ミスを繰り返す出稼ぎ労働者の矢部を解雇したことで、宿舎に放火され、被害者になってしまう。



矢部妙子 (42) | 北原佐和子  
被告人の妻 / 夫の裁判に証人として出廷するために上京。執行猶予を涙ながらに訴える。

### 夫婦



矢部次郎 (47) | 松澤一之  
被告人 / 家族を郷里に残し、建築会社に出稼ぎに来ている。度重なる仕事のミスで解雇され、衝動的に従業員宿舎に放火してしまう。

### 裁判所



今泉康裕 (37) | 黒木尚典  
刑事第2部 / 右陪席裁判官



松川美子 (53) | 山口果林  
刑事第2部 / 裁判長裁判官。緊張気味の裁判員たちに対して柔らかく接する。



石川芳治 (28) | 笹尾融理亜  
刑事第2部 / 左陪席裁判官



岡崎久美子 (24) | 菊池麻衣子  
刑事訟廷事務室 / 裁判所事務官



木田慎一 (36) | 飯田基祐  
刑事訟廷事務室 / 裁判所書記官



兼松大典 (63) | 浜田 晃  
弁護士



柏木康之 (35) | 池田政典  
検察官

### 弁護